

1 病院の役割・機能等（「新潟県病院事業の取組方針」より）

[下越医療圏]

リウマチセンターの役割・機能等

病院の現状（平成 28 年 7 月 1 日現在）

所在地	新発田市本町 1-2-8						
病床数 (稼働)	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		100					100
診療 科目	一般・療養の 病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計	
			52	48		100	
診療 科目	リウマチ科、リハビリテーション科						

平成 37 年（2025 年）における病院の具体的な将来像

- ・ 国内唯一の県立リウマチ専門病院として医療機能を充実し、先進的で専門的な医療を提供します。
- ・ 認知症や内科的合併症に対応した治療の高度化、在宅治療の充実を図ります。
- ・ 回復期病棟において、大腿骨近位部の骨折に対応した手術治療後のリハビリ等、急性期後のリハビリの充実に取り組みます。
- ・ 地域の医療施設からの患者の紹介、容態安定後の逆紹介により、機能分担を進めます。

取組方針対象期間末（平成 32 年度）までの病院の役割

地域医療構想を踏まえた病院の果たすべき役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リウマチ専門病院として、急性期及び回復期病床の機能を担い、先進的医療の提供とリウマチ診療における研究・研修機能を担います。</li> <li>・ 急性期及び回復期のリハビリテーションを提供します。</li> </ul>
地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リウマチの悪化や合併症等、患者の緊急時に対応できるよう、後方病床を確保します。</li> </ul>

2 2025年の病床数及び診療科の意向（H29.12.22「2025年に向けた病院の役割・方向性についての調査」）

(1) 4機能ごとの病床のあり方について

区分※	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	(床)	→	(床)
急性期	52 (床)		52 (床)
回復期	48 (床)		48 (床)
慢性期	(床)		(床)
合計	100 (床)		100 (床)

※病床機能報告制度に基づく区分。

〈上記に係る具体的な方針、計画、理由など〉

当院の果たすべき役割として、次のとおり考えている。

- リウマチ専門病院として、急性期及び回復期病床の機能を担い、先進的医療の提供とリウマチ診療における研究・研修機能を担う。
- 急性期及び回復期のリハビリテーションを提供する。

(2) 診療科の見直しについて

今後の方向	現在 (平成29年12月1日)		将来 (2025年度)
維持	リウマチ科、リハビリテーション科	→	リウマチ科、リハビリテーション科
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

〈上記に係る具体的な方針、計画、理由など〉

見直し予定なし。

3 病院経営分析比較表 ( 総務省ウェブサイトより )

病院経営分析比較表 ( 27 年度 )				都道府県名	新潟県
				市町村・組合名	
				病院名	リウマチセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,303 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	2	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

※特殊診療機能欄 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療  
 ※指定病院の状況欄 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院  
 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )						
区分	病床数	27年度	全国平均	類似平均	26年度	25年度
一般	100	76.3	74.1	66.7	79.0	82.2
療養	-	-	75.1	79.6	-	-
結核	-	-	19.5	18.8	-	-
精神	-	-	64.9	56.1	-	-
感染症	-	-	1.0	2.4	-	-
計	100	76.3	72.7	68.2	79.0	82.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	18.4	20.2	17.6	17.9

一日平均患者数・外来入院患者比率 (人・%)			
区分	入院	外来	外来入院患者比率
27年度	76	93	80.7
全国平均	169	409	167.1
類似平均	100	266	184.5
対前年度伸率	-3.8	2.2	
26年度	79	91	77.4
対前年度伸率	-3.7	1.1	
25年度	82	90	73.3

患者1人1日当たり診療収入 (円・%)		
区分	入院	外来
27年度	40,823	18,964
全国平均	44,807	12,429
類似平均	30,566	9,472
対前年度伸率	2.0	6.0
26年度	40,014	17,887
対前年度伸率	1.7	-1.4
25年度	39,347	18,147

職員1人1日当たり診療収入 (円・%)		
区分	医師	看護部門
27年度	442,402	80,221
全国平均	303,481	58,335
類似平均	352,135	50,330
対前年度伸率	15.4	-2.9
26年度	383,359	82,635
対前年度伸率	-11.4	-4.9
25年度	432,723	86,892

薬品使用効率 (%)		
投薬	全国平均	類似平均
98.9	110.8	119.6
注射	99.1	106.1
計	99.0	111.6

職員1人1日当たり患者数 (人)			
区分	全国平均		類似平均
	入院	外来	
医師	7.9	4.6	7.3
	6.4	7.7	13.5
看護部門	1.4	0.9	1.0
	1.2	1.5	1.9

100床当たり職員数 (人)			
区分	全国平均	類似平均	
医師	10.5	15.2	8.8
看護部門	66.6	78.9	63.3
薬剤部門	3.8	3.7	2.9
事務部門	7.5	11.8	11.8
給食部門	2.8	2.6	2.9
放射線部門	1.0	3.7	2.9
臨床検査部門	1.0	4.7	3.7
その他	22.3	10.6	12.4
全職員	115.5	131.2	108.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	48.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)						
区分	平成27年度			平成26年度		
	対前年度増減率	費用 医業収益	全国平均	類似平均	対前年度増減率	平成25年度
総収益	2,185,203	2.8			2,125,094	8.7
1 医業収益	1,595,846	0.9			1,582,001	-2.2
(1) 入院収益	1,139,334	-1.3			1,154,089	-2.2
(2) 外来収益	427,212	7.0			399,281	0.1
診療収入計	1,566,546	0.8			1,553,370	-1.7
(3) その他医業収益	29,300	2.3			28,631	-24.5
(うち他会計負担金)	-	-			-	-
2 医業外収益	589,357	8.5			543,093	61.0
(うち国・都道府県補助金)	-	-			-	-
(うち他会計補助・負担金)	482,646	10.1			438,522	32.3
(うち長期前受金戻入)	98,501	-			-	-
(うち資本費繰入収益)	-	-			-	-
3 特別利益	-	-			-	-
(うち他会計繰入金)	-	-			-	-
総費用	2,125,625	2.2			2,079,676	9.0
1 医業費用	2,101,793	5.0			2,000,959	5.8
(1) 職員給与費	1,145,029	4.4	71.8	54.5	1,097,142	0.6
(2) 材料費	543,138	5.0	34.0	24.1	517,322	-0.8
(うち薬品費)	418,596	6.1	26.2	12.6	394,401	-2.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	104,313	1.3	6.5	11.0	103,001	6.4
(3) 減価償却費	153,114	28.2	9.6	9.0	119,445	293.3
(4) 経費	240,103	0.9	15.0	23.3	237,935	3.2
(うち委託料)	116,103	-3.5	7.3	10.8	120,257	-0.1
(5) 研究研修費	12,049	-30.8			17,410	0.2
(6) 資産減耗費	8,360	-28.6			11,705	2343.6
2 医業外費用	23,832	1.1			23,563	42.2
(うち支払利息)	2,268	-5.3	0.1	1.9	2,394	14.9
3 特別損失	-	-			55,154	-
損益	59,578				100,572	
経常損益	59,578				45,418	
純損益	59,578				45,418	
累積欠損金	-	-			4,937	-90.2
経常収支比率	102.8		98.7	98.1	105.0	
医業収支比率	75.9		89.5	84.8	79.1	
他会計繰入金対経常収益比率	22.1		12.0	15.1	20.6	
他会計繰入金対医業収益比率	30.2		14.0	18.6	27.7	
他会計繰入金対総収益比率	22.1		12.3	15.7	20.6	
実質収益対経常費用比率	80.1		86.8	83.3	83.3	

区分	職員数 (人)			平均給与月額 (円)			平均年齢 (歳)		
	当該病院	当該病院	全国平均	当該病院	全国平均	類似平均	当該病院	全国平均	類似平均
医師	9	1,726,455	1,401,010	46.6	44.5	48.0			
看護師	47	583,765	468,129	42.0	38.7	41.7			
准看護師	-	-	495,170	-	51.7	50.9			
事務職員	5	614,467	517,270	41.8	43.2	44.0			
医療技術員	25	699,821	479,755	42.8	39.5	40.4			
その他職員	-	-	432,127	-	46.9	45.3			
全職員	86	743,472	579,988	42.7	40.2	42.6			

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	447,608	482,646
資本勘定繰入	37,132	-
計	484,740	482,646

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率 (%)
27年度	193,031	0.3
26年度	73,466	0.1
25年度	-	-

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。  
 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は、特別会計単位で算出している。